

寝屋川民報

発行
日本共産党
寝屋川市委員会
072-823-0058
FAX : 823-4336
No.3479

寝屋川市会議員

中林かずえ
宝町 4-33
090-3944-8385
寝屋川市会議員

松尾信次
下木田町 12-6
090-3056-9924

寝屋川市会議員

西田まさみ
石津中町 30-3
090-9713-3588

前寝屋川市会議員

太田とおる
高柳 2-49-2
080-3818-0722

防災・くらし守る施策の拡充へ 3月市議会 松尾議員が討論



体育室にエアコンの設置がされる
コミュニティセンター

3月25日、3月市議会本会議で、24年度の市の全会計が全会一致で採択されました。日本共産党市議員団は、松尾信次議員が討論を行いました。一部を(紹介)します。(全文はHPで紹介いたします)

今年1月1日の能登半島地震の教訓もふまえ、災害から市民の命と暮らしを守るための施策が具体化されています。小学校体育館、コミセン体育室へのエアコン設置、学校トイレの洋式化、避難所鍵ボックスの設置、(仮称)市民大訓練の実施など評価します。

市民の中で防災への関心が高くなっていきます。市民とともに多様な形で防災を考える機

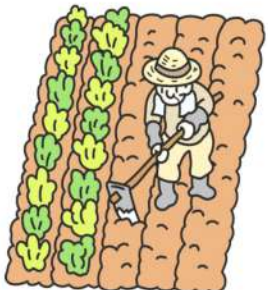
商工業者の実態 市職員も参加して調査を

会を持つことが重要で、とくに、小学校区単位での具体化を求めます。

ねやがわプールの開催、不妊治療の拡充、登校支援教室の移設なども重要です。4月から、望が丘小中学校が開校しますが、子ども、保護者、地域住民の声を反映した学校になるよう、求めています。

商工業振興では、事業者実態調査が実施されます。きびしい経営環境の中で苦勞している事業者の生の声を聞くことが大事です。産業振興室はもとより、まちづくり推進部としても、職員が参加して具体的な調査を進めることを求めます。

都市農業振興の取り組みも重要です。私は昨年農業まつりに寄せていただき活気を感じました。朝市とともに、地域で同じような取り組みができないでしょうか。近所で栽培した農産物を買えば、都市農業の必要性が市民に知ってもらえます。



非正規が5割 正職員を増やすこと

寝屋川市で非正規職員の数が正規職員を少し上回る状況です。正規と非正規の目に見えた格差、非正規の8割が女性です。非正規が5割という現状を変えることが格差是正・ジェンダー平等につながります。

会計年度任用職員の期末・勤勉手当の支給

国保料負担軽減へ

「大阪の国民健康保険は一つ」の名で、全国一高い国保料を大幅に引き上げさせる、市独自の国保料引き下げや減免制度も実施させない、全国でも突出した大阪府による制度改悪は許せません。

厚生労働省は3月19日の自治体向け会議で、市町村が国保料の負担

3月市議会

2つの意見書を採択

本会議最終日に、2つの意見書が採択されました。

①「地方創生に貢献するサーキュラーエコノミー(循環経済)の一層の推進を求める」意見書

②「最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める」意見書

なお、②の意見書は日本共産党議員団が提出しました。



小中学校のトイレの洋式化の推進 保育士の処遇改善を

西田まさみ議員が質問

子どもたちが大切にされ安心して子育てできる寝屋川市に

2024年度予算審議が3月議会文教生活常任委員会分科会で行われ、西田まさみ議員は、小中学校の施設整備、保育士、学童保育の指導員の処遇改善などについて質問しました。

小学校のトイレの洋式化については、学校トイレリメイク緊急3か年事業として、小中学校の校舎棟トイレの洋式化改修工事を実施するものです。

現在の洋式化率は46%ですが、これを3年後には100%にするとの答弁がありました。

また、不登校の児童生徒を支援する登校支援教室を現在の寝屋川団地内の寝屋川市総合教育研修センターから寝屋川市駅に近い中央幼稚園跡地に移設されることとなりました。西田議員は昨年の12月議会、市の西部、南部地域などからの通所が困難であることから、市駅周辺への移設を求めています。

4月からの移設で利便性の向上が図られることとなりましたが、中央幼稚園跡地では、現在、子育て支援事業「おやこほっとステーション」が取り組まれています。

西田議員は、登校支援教室に通う児童生徒にとって、大きな変更になること、建物を区切って使うことなどが考えられることから4月の開設に向け、不登校の児童生徒にとっても地域の親子にとっても安心して利用できる施設となるよう、整備を求めました。

また、昨年からはまったヤングケアラー支援事業は、拡充されます。学校で把握している児童生徒の実態調査をして、必要な支援をするものです。具体的な支援は、子どもが家庭で行っている、介護や、家事など、事業所に委託し、ヘルパーが家庭を訪問し支援を行っていくということです。

保育所の職員体制の拡充を

市内の保育所園では保育士の欠員が問題となっていて、特に年度途中の産休や病休に対して代替の保育士がなかなか確保できず、保育現場は大変です。そんな中で、本市では、新しい保育・教育のプログラム「エージェンシー型教育Actupラン1」に取り組みま

す。これはヨーロッパなどで進められている教育で、一人ひとりの子どもとしっかりと向き合い、対話を行う中で子どもの状況を把握し、子どもの気持ちを大切に保育・教育していくというものです。西田議員は、「エージェンシー型教育が進

められている国では、保育士の配置基準が、日本とは大きく違い、3・4・5歳児7人、15人に一人の保育士という体制だからこそ一人一人を大切にしたい保育ができる。日本のような4・5歳児30人に一人の保育士ではこの

学童保育指導員の処遇改善を

学童保育では、退職などにより、指導員の欠員があります。新年度に向けて欠員を出さないため指導員の確保を求めました。

市は、安定した運営体制を確保するため、保育士の資格を取得するための研修を行うこと。

ような保育はできない。今こそ保育士の増員が必要」と訴えました。市は、エージェンシー型保育を進めるにあたり、保育士の業務軽減のため、各保育所園に、保育士を配置すると答弁しました。

また、指導員処遇改善のため、経験年数加算を現在の6段階から8段階にすると答弁。指導員は、任期付短時間職員として採用されますが、応募が少なく、不足分を会計年度任用職員で補っています。会計年度任用職員の待遇改善も必要です。

議員誌



西田まさみ

毎月、第4金曜日にまちかど市政報告を行います。

これは、市議会で審議されたこと、決定された施策や取り組みなどを市民にお知らせする宣伝行動です。

時間は午後、4時から5時までの1時間。場所は、地域のスーパー前、交差点、香里園駅前などの3か所を移動しながら行っています。

後援会の皆さんの協力で、共産党ののぼり、ポスター、その日に訴えることを簡条書きにしたパネルを掲げ、1か所10分を目安に訴え

ます。

背の低い私を少しでも目立つようと、携帯式のお立ち台も作ってもらいそこに立って訴えていましたが、最近壊れてしまい、修理まちとなっています。宣伝中に、「頑張ってください」「応援していますよ」と声をかけていただくこともあり元気をもらっています。

これからも、市議会のことを皆さんに知っていただくため、まちかど市政報告を続けていきます。